



校種間連携で " つながる学び "

幼稚園、小・中・義務教育学校、高校、特別支援学校や大学などの学校種間の連携を通じた学びの連続性について、生徒たちの視点から紹介します。

外国語活動パートナーズクール事業



小学校と高校で経験したパートナーズクールについて

平成 24 年度に園部小学校でパートナーズクール事業を経験し、その後、平成 29 年度に園部第二小学校の児童へ教える立場になった園部高校 京都国際科 2年生2名に話を聞きました。

「先輩はとってもフレンドリーでした。」当時、小学6年生だった川原さんの高校生に対する印象です。もともと洋楽や海外のコメディドラマが好きで、英語に興味のあった川原さんは、京都国際科の存在をこの時に初めて知ったといいます。

中学校で高校進学を考えた時、「英語を学ぶことが自分に合っているのではないか。」と考えるようになり、園部高校に進学しました。

今回、高校生として教える立場となり、「とにかく分かりやすく、取っつき易いように心がけました。」「小学生には、失敗を恐れずに相手にしっかりと伝えることを伝えたいです。失敗しても恥ずかしいことじゃないし、楽しんで欲しいです。」と話してくれました。



川原拳士朗さん
(園部高校 京都国際科2年生)



中井瑞月さん
(園部高校 京都国際科2年生)



中井さんは、パートナーズクールで高校生と英語を話すことがとても不安で、緊張していました。しかし、高校生が楽しそうに反応してくれたことで、「相手に伝わる！会話ができる！」と自信を持つようになれたと話してくれました。

この時の経験から、「英語で世界のことを知りたい。」と考え、京都国際科をめざすようになりました。



「今の小学生は、話してるのが大人っぽい。」と印象を話してくれた中井さん。「音楽・本・TV といった身の周りの英語を意識すると、英語がもっと身近になります。」と小学生へアドバイスをしてくれました。

南丹教育局ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局

検索

